

令和2年度 住みよみやぎづくり功績者表彰

【団体】

(敬称略)

No.	活動区分	団体名	設立年・ 会員数等	代表者名	活動の内容	活動歴	推薦機関
1	自然愛護	仙台市森林アドバイザーの会	H16 100名	及川 信彦	平成16年の設立以来、仙台市と協働して、森林の持つ多面的な機能が十分発揮できるように、市民の参加により植林や下刈りなどを行う「みんなの森づくり」事業を積極的に推進するとともに、仙台市民参加の森林ボランティア活動にアドバイザーとして指導的役割を担って活動している。 また、同団体は仙台市長認定の「仙台市緑の活動団体」として、仙台市から事業を受託しているほか、町内会等の地域団体、学校や他のボランティア団体と連携・協働し、緑地の保全、環境整備活動を積極的に行っている。さらに、震災後は、仙台の海岸防災林の再生を図るため植樹や除草等の育樹を行ったり、仙台市主催の植樹会では、植樹リーダーとして活動するなど、東部海岸地域の緑の復興に貢献している。	16年	仙台市
2	人命救助	白石市立深谷小学校	M12 14名	平間 正信	令和2年9月14日午後1時43分頃、白石市立深谷小学校への来校者が、昇降口前で意識を失い倒れたところを、その場にいた教職員5名等でAED等一次救命措置を行った。	—	白石市
3	自然愛護	特定非営利活動法人SCR	H24 40名	村上 幸枝	山の間伐や下刈りを行ったり、市内小学生を集めて山と親しむイベントを企画運営している。また、間伐材を使い子供たちと一緒に積み木を作ったり、積み木を寄贈するなど、地域の木育も行っている。 また、市の「花いっぱい運動」と連携し、地域や小学生にひまわりの種をプレゼントする活動を行っており、地域住民から大変感謝されている。	5年	富谷市
4	安全で安心なまちづくり	亶理地区まちづくり協議会 生活安全部会	H23 10名	馬場 文男	平成28年4月以来5年間、春から秋にかけて1～2ヶ月に1回程度、町道の交差点歩道部分を中心に歩行者用及び自転車用の停止表示「とまれシート」の貼り付け作業を行っている。交通事故の多いとされる交差点での事故防止を目的として実施しており、小中学生の通学時における交通事故の未然防止や地域住民の交通安全意識の向上に寄与している。	5年	亶理町
5	自然や文化財の愛護	亶理歩好会	H25 28名	鈴木 光範	平成22年から亶理町中部の割山峠から山元町に接する四方山の間荒れた里山道の倒木撤去や枝払い、ロープを用いた安全施設等の設置を自主的に行い、5年の年月を掛けトレッキングルートとして整備した。本ルートは里山の歴史的にも貴重なルートとなっており、環境省のプロジェクトである「みちのく潮風トレイル」のルートに選定されるよう自ら働きかけた結果、ルートに選定され、交流人口の拡大にも尽力している。近年では、町有林内の散策路の下刈り、枝払い等の活動も行い、森林の保全活動にも努めている。	15年	亶理町
6	安全で安心なまちづくり	一般社団法人宮城県建設業協会	S23 261社	千葉 嘉春	平成18年12月に、社会貢献活動の一環として子供の見守りのためのパトロール活動を開始し、令和2年4月1現在では、会員企業224社、車両491台を駆使し、県内全域の子供の安全を守るパトロールや通学路の安全点検を行う等、安全で安心な地域社会活動に積極的に貢献している。	13年	県警本部
7	安全で安心なまちづくり	登米町わらすこかたり隊	H16 224名	佐藤 政孝	平成16年の結成以降、構成員が一丸となり、児童生徒の登下校における「ながら見守り」活動を積極的に実施しているほか、入学や新学期時には、小学校周辺において教員や各種防犯ボランティア等と連携し、あいさつ運動を実施している。これら活動により、児童生徒は、安心して登下校することができ、教員や保護者からも継続活動を望まれているなど、安全で安心な地域社会活動に貢献している。	15年	県警本部

【個人】

No.	活動区分	氏名	年齢・ 性別	職業	活動の内容	活動歴	推薦機関
1	環境美化	武田 重勝	81歳	無職	平成17年から現在まで、成田公民館に花を持参し、月2回程度花壇管理を行ったり、成田保育所で園児たちに花の植え方を教えながら花壇の水やりを行っている。また、平成27年から特別養護老人ホーム成田の里に訪問し、夏と翌春のための花の苗を持参し、花壇管理を行っている。 それぞれの施設利用者、園児、園児の親など子供から大人まで多くの方の楽しみとなり、癒しとなっている。	16年	富谷市
2	文化芸術の振興 地域社会・公共団体のために尽力	吉川 一利	31歳 男性	利府町地域おこし協力隊	東日本大震災の復興支援にやってくるボランティアの方々の笑顔に心ひかれ、笑顔のリレーをつなぐことで被災者の笑顔を取り戻そうと「笑顔カレンダー」の制作を始めた。2011年(平成23年)から制作を開始し、2012年版を作りあげて以降、現在まで毎年制作し、販売している。売上の一部は、東日本大震災被災地域・大規模災害地域の自治体、教育機関、社会福祉法人等の活動に役立てている。 なお、2020年版をもって、10作目となり、被災地域応援金総額が100万円を超える予定。	9年	利府町
3	環境美化	片倉 恒夫	73歳 男性	無職	平成20年3月に宮城県警察を定年退職した職員で、退職後は、独学で植栽の手入れを学び、これまでに造園施工管理技士2級の国家資格を取得している。その資格技術を生かし、6年前から2ヶ月に1度、勤務歴のあった仙台東警察署の敷地内の植栽剪定や植え替え及び害虫防除等の維持管理を手がけるほか、地域の憩いの場として住民から愛されている神社等の施設の環境美化活動に無償で貢献している。	6年	県警本部
4	安全で安心なまちづくり	伊東 務	77歳 男性	無職	平成17年頃から児童生徒の登下校時間帯に、信号機が設置されていない国道346号線上の交差点において、児童生徒の安全を見守る声掛け活動や横断時の交通誘導を行う等、地域安全の見守り活動を行っている。これらの地道な活動に、現在では地域住民も加わり、より一層安全で安心な地域社会の醸成に積極的に貢献している。	14年	県警本部